



TOKYO METROPOLIS

学びのアップデート 34

Learning Updates



Contents menu

- 01 児童・生徒のインターネットによるトラブルを防ぐためには
- 02 情報活用能力チェックリスト「GIGA検定とうきょう」の公開
- 03 GIGAワークブックとうきょうの更新



見知らぬ人とのSNS上でのやり取りや、直接会うなどのトラブルを防ぐためには、どのような指導が有効なのだろう。

生成AIを使ったトラブルも増えていると聞き、どうしたらいいのだろう。

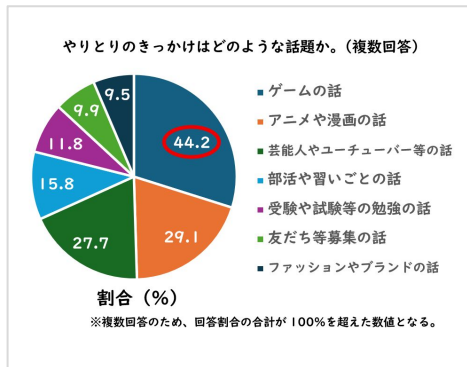
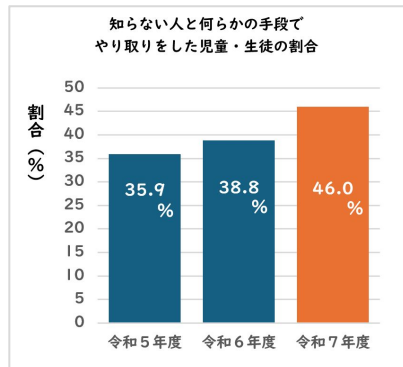
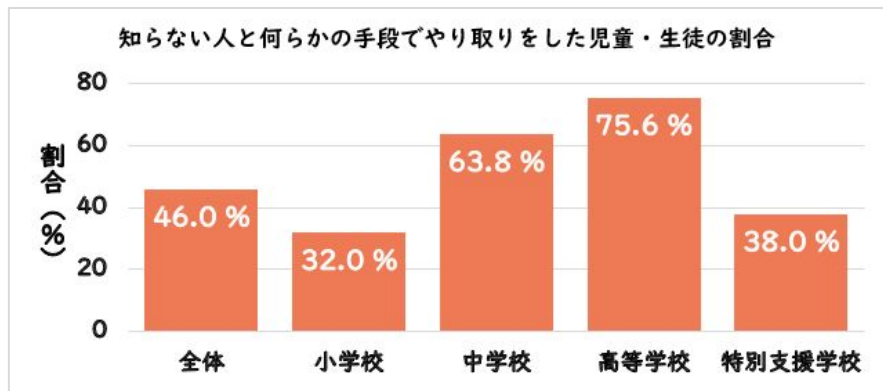


「令和7年度 児童・生徒のインターネット利用状況調査」の結果を踏まえ、現在東京都が公開している指導用の教材を紹介します。



東京都では、インターネットの利用やトラブル被害を経験した都内公立学校児童・生徒の割合及びその内容、保護者の認識、学校対応等の現状を分析するため、インターネット利用状況調査を毎年実施しています。（令和8年4月23日公開）

【質問】インターネットで知らない人とやりとりしたことがありますか。



「インターネットを利用した知らない人とのやりとり」では、年齢が上がるにつれ、何らかの形でやりとりした経験のある生徒が増えるなどの実態がみられました。

全体の経年比較を見ると、徐々に知らない人とのやりとりが増加しているほか、きっかけとして「ゲームの話」からやり取りが発生することが多いという実態を保護者に周知するなど、安全管理が必要です。

▼GIGAワークブックとうきょうピギナー「友だちだと思っていたら」



▼考えよう！デジタルリテラシー「ネットで知り合った人、会っても大丈夫？」

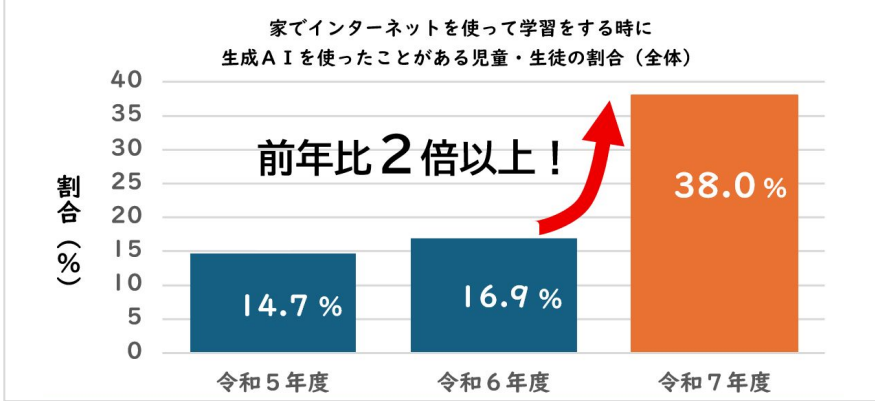
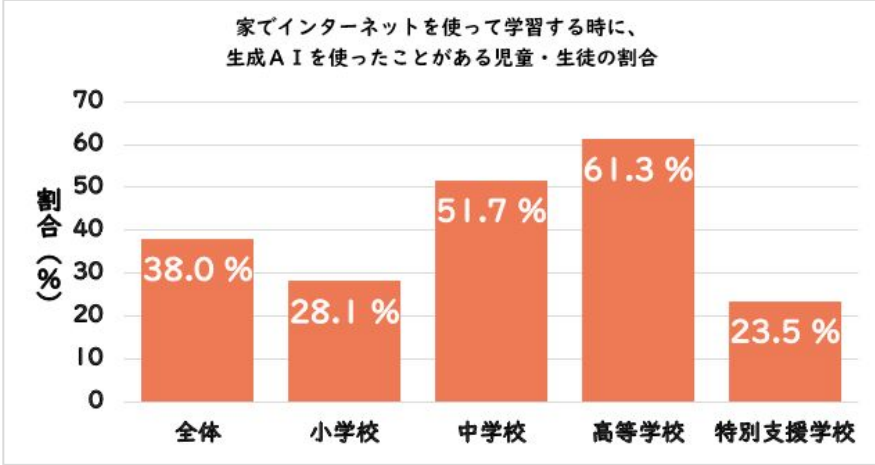


児童・生徒の安全を守るために、家庭でも「SNS家庭ルール」を設定するなどの啓発を、積極的に行ってください。



01 児童・生徒のインターネットによるトラブルを防ぐためには

【質問】家でインターネットを使って学習をする時に、生成AIを使ったことがありますか。



家でインターネットを使って学習をする時に、生成AIを「使ったことがある」児童・生徒の割合は、令和6年度から2倍以上に増加しました。生成AIの利用拡大に伴い、生成された情報をうのみにしない姿勢など、情報リテラシーを一層向上させることが不可欠です。

生成AIリテラシー教材



https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/GenAI/materials_top.html

児童・生徒への情報モラル、情報リテラシーの育成に向けて、「とうきょうの情報教育」に掲載されている「GIGAワークブックとうきょう」や「考えよう! デジタルリテラシー」、その他資料・教材をぜひ活用ください。



02 情報活用能力チェックリスト「GIGA検定とうきょう」の公開



東京都では、児童・生徒の情報活用能力の定着度合を一人1台学習者用端末を用いて測定するためのツール、「GIGA検定とうきょう」を令和8年5月に公開しました。

「GIGA検定とうきょう」は、児童・生徒の情報活用能力の定着度合を一人1台学習者用端末を用いて測定するためのツールです。

教員が、学級や児童・生徒個人の検定結果を把握し、授業や学級での指導改善に生かすことを目的としています。

けんてい
GIGA検定とうきょう

学級モードコース登録

じしゅう
自習モード

がっきゅう
学級モード

ぜん ちゅうちゅう せん ぜん 全7問中1問目

【情報を整理したことは？】

ある小学校の5年生を対象に「サッカー」が好きなアンケートを取り、「好き」と回答した結果をクラスごとに整理しました。

このグラフから分かることを、次の4つの中から一つ選び、✓を付けましょう。

クラス	好きな割合
1組	40%
2組	18%
3組	3%
4組	26%
5組	12%

サッカーが好きな割合が一番高い学級は、4組である。

サッカーが好きな割合が3番目に高い学級は、5組である。

4組と5組のサッカーが好きな割合を足すと、1組の割合より大きい。

3組と5組のサッカーが好きな割合を足すと、2組の割合より小さい。

ぜん ちゅうちゅう せん ぜん 全7問中6問目

【ファイルやフォルダの処理】

ファイルやフォルダの移動やコピー、削除などをしたことがありますか。

次の5つの中からやったことがあるものを全て選び、✓を付けましょう。

1. ファイルを別のフォルダに移動したことがある。
2. ファイルをコピーして、別の場所に保存したことがある。
3. 不要なファイルを削除したことがある。
4. フォルダを新しく作成したことがある。
5. 1～4に、あてはまるものはありません。

「GIGA検定とうきょう」の特徴

- レベルは数字ではなく星の名前で表記し、何度でも自由に挑戦することが可能
- 「タイピングスキル」や情報活用能力についての「知識・技能」及び「経験」を測定
- 「自習モード」は、学校や家庭で自身の能力を把握したい時など個人で活用できる
- 「学級モード」は、学級全体の到達度やスキルの定着状況等の傾向を見る際に活用できる

▼活用方法の例

同じ星の検定を年間を通して実施し、児童・生徒の検定結果の向上（情報活用能力の向上）を確認することが可能です。また、個人の結果のみならず、学級や学年全体の検定結果を保存しておくことで、簡単に比較が可能です。



1学期の検定結果（可）



2学期の検定結果（良）



3学期の検定結果（優）

「GIGA検定とうきょう」は、情報教育ポータル「[とうきょうの情報教育](#)」上に公開しています。ぜひ御活用ください。詳細は、各区市町村教育委員会及び都立学校宛に送付済みです。





活用型情報モラル教材「G I G Aワークブックとうきょう」を更新しました。

「G I G Aワークブックとうきょう」について

情報モラル教育と情報活用を学ぶための教材です。児童・生徒がネットの特性やリスクを理解し、適切なコミュニケーション方法を学ぶことができます。

「G I G Aワークブックとうきょう」の更新は、令和8年度の更新を以て完成しました。

児童・生徒の情報モラル教育及び情報活用能力の育成のため御活用いただきました「G I G Aワークブックとうきょう」は、令和8年度版の更新を以て完成となりました。引き続きぜひ御活用ください。



画像をクリックすると教材を見ることができます

G I G Aワークブックとうきょう電子版コンテンツの追加

G I G Aワークブックとうきょうの電子版コンテンツを10コンテンツ追加しました。御活用ください。

G I G Aワークブックとうきょうスタンダード版

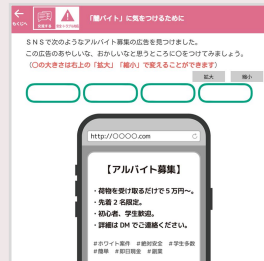
- [【安全・トラブル対応 その動画は本当に「おもしろい」の?】](#)
- [【情報モラル なぜ広告がちがうのかな?】](#)
- [【安全・トラブル対応 口コミの評価は正しいのかな?】](#)

G I G Aワークブックとうきょうアドバンスト版

- [【なぜ、お金持ちアピールをしているの?】](#)
- [【お礼の気持ちは伝わるのかな?】](#)
- [【どうすれば「歩きスマホ」がなくなるのか】](#)
- [【反応を想像してみよう】](#)
- [【画像生成AIを使ってみたら】](#)
- [【「闇バイト」に気を付けるために】](#)
- [【好きなことを広げてみよう】](#)



リンクをクリックすると教材を見ることができます



G I G Aワークブック自主学習版の追加

G I G Aワークブックの自主学習版（PDF）を掲載しました。これまでのG I G Aワークブックとは異なり、各家庭などで個人学習するための教材となっています。情報モラル教育や情報活用能力の育成について、各家庭との連携にも御活用いただける教材です。

「G I G Aワークブック for Teachers」のリンク掲載

「G I G Aワークブック for Teachers」は、活用型情報モラル教材「G I G Aワークブック」の学校現場での活用を後押しする、教員向け支援サイトです。これまで掲載していた教材の逆引きツールもこちらに掲載されています。ぜひ御活用ください。



画像をクリックすると
サイトにアクセスできます

教材はこちらのリンクからアクセスし、
使用してください。情報教育ポータルサイト
：<https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/>



学びのアップデート 34

Learning Updates

学習指導要領に示されている資質・能力を育むには、指導方法、学習方法、学習環境等を更新し、最新のものにする必要があります。

また、Society5.0に向けて、ICT機器及び環境というハード面と、それらをどう利用していくか、授業そのものをどのように構成するかというソフト面の両方のアップデートが求められています。

そこで、これからの「学び」を最新のものに「アップデート」していただくことを願い、本通信のタイトルを『学びのアップデート』としました。東京都教育委員会のホームページにも掲載する予定です。

学びのアップデート

Society5.0に向けた一人1台端末の活用のための実践事例通信
第34号 令和8年6月30日発行 東京都教育庁企画部デジタル推進課